整理No.	38

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【１．施策名】

施策コード	211-02	基本施策	総合的・計画的な環境対策の推進	所管部局	環境部
施　策　名	環境教育と環境学習の推進			主担当課	環境政策課
				関係部局課	森林整備課
施策の目標	あらゆる機会を通じた啓発や環境教育・環境学習を実施することにより、市民や事業者の環境に対する責任と自覚を促し、環境対策への意識と行動力の向上を目指します。				

【２．施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など
深刻化・多様化する環境問題を克服し、持続可能な社会を構築していくためには、地域の資源を学習素材として活用した環境学習会や森林体験会を開催し、市民や事業者と共に環境問題を考え、市民や事業者の環境に対する責任や自覚を促していく必要がある。

【３．施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H23）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
環境学習会参加人数	人	114	155	90				200
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
環境政策課で主催する環境学習会の参加人数	平成19年から平成23年度の参加人数の平均167人の２割増を目指す。							

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H23）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
森林体験人数	人	2,482	2,714	2,629				2,500
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
森林作業体験、森の里親制度、趣味の林業講座等の森林に触れ合う体験事業の参加者人数	＜H23年度見込＞H22年度2,772人－400人（高原学校3日→2日減による人数減）≒2,300人 ＜H28年度目標値＞平成23年度見込人数の1割増　2,300人×1.1≒2,500人 総合計画後期基本計画では、H28年度目標値を2,500人としていたが、H24年度は目標を達成したため、H25年度は3,000人（前年度比1割増）の参加人数を目指す。							

25年度の取組内容実績	環境問題について体験を通じて学べる環境学習会（自然観察会、水生生物調査、生活環境学習会など）・教職員を対象とした研修会の開催にあたり、ホームページ・広報ながの・民間マスメディアなどの媒体へ積極的に掲載し、参加者の増加を図った。 森林体験、森林学習会の開催にあたり、ホームページへの掲載や高原学校担当者に学校行事として、取り入れるようＰＲを行い、参加者の増加を図った。

【４．総合評価】

総合評価　（目標値に向けて）	一部に努力を要する

	評価の理由・説明等
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	多様化する環境問題に対し、取り上げるべき優先度の高い課題や市民の関心度が高いことなどを勘案し、森林体験をはじめに市民や事業者が親しみを持ちながら取り組める内容を検討しながら学習会を実施している。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	東日本大震災に起因するエネルギー問題や温室効果ガスの排出増大による地球温暖化などにより社会的に環境意識が高まっており、学習会や体験会の参加人数は増加しているが、更に環境意識の高揚を図るとともに、環境保全の行動へと結びつけていく必要がある。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	環境学習の指導者養成事業については、教職員の勤務多忙等の理由により参加者が減少傾向であり目標は下回っている。対象を小中学生とした学習会のなかでも特に水生生物調査を行うものについては、市民の大変関心が高く人気があり概ね目標を達した。森林体験事業については、県の「森林（もり）の里親」制度や高原学校における森林体験学習などへの関心は高まっており、25年度については概ね目標を達した。

【５．今後の展開】

	課　　題	課題解決に向けた具体的な取組
1	環境学習会は、ＮＰＯ法人や民間団体において、同じような内容で開催されているものがある。	ＮＰＯ法人や民間団体で開催する学習会について調査、検討し、連携できる部分については、連携することで充実を図っていく。
2	森林体験活動に対する意識が高まっている中で、事業実施箇所の確保及び指導者の確保が課題となっている。	林新体験活動に対する意識が高まっており、現在実施している事業のほか、新たな体験事業等を開催し、森林・林業に今まで以上に関心を持ってもらう。
施策展開の方向性（H26年度以降）	深刻化・多様化する環境問題に対し、市民や事業者が正しく理解し、環境意識を高めるとともに、更に家庭・地域・職場で環境保全活動に結びつくよう自然環境に親しめる学習会・体験会を検討・開催して行く。	

【６．施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 ［事業区分］ 担当課名	事務事業の概要	事業の取組実績・成果
1	環境教育 ［サービス提供事業］ 環境政策課	環境学習会の開催 自然観察会・水生生物調査・生活環境学習会など 教職員研修会	環境学習会・教職員研修会を開催し、環境保全の重要性の啓発が図られた。
2	森林体験 ［サービス提供事業］ 森林整備課	森林作業体験、森林の里親制度、趣味の林業講座等の体験事業を実施する。	長野県実施の「森林（もり）の里親」制度や高原学校における森林体験学習などへの関心は高まってきている。平成25年度については、おおむね目標どおりの実績であった。
3			
4			

番号	事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
	達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
1	C	A	B	B	B	継続	5,562	5,692	6,910	8,110
2	B	A	A	B	B	継続	4,728	4,881	5,472	6,028
3										
4										

5		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
6		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
7		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
8		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
9		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
10		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26